



編集 公益財団法人まちみらい千代田
〒101-0054 千代田区神田錦町3-21 ちよだプラットフォームスクウェア4階
TEL3233-7555(代) FAX3233-7557
URL <https://www.mm-chiyoda.or.jp>

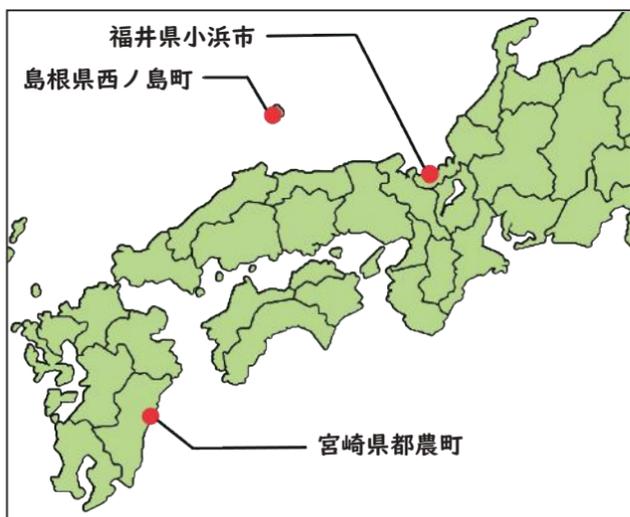
Facebook まちみらい千代田公式フェイスブック
URL <https://www.facebook.com/MMChiyoda>

Twitter まちみらい千代田公式ツイッター
URL <https://twitter.com/MMChiyoda>

ちよだいちばのイベント情報



■月間ご当地まつり 10月1日(火)まで
福井県小浜市・宮崎県都農町・島根県西ノ島町
今月は3つの地域の加工品を販売しています。



[福井県小浜市] さばのへしこ・鯖の缶詰・鯖カレー・小鯛のささ漬など



[宮崎県都農町] トマトパスタ・トマトのひねり揚げ・宮崎牛のつくだ煮など



[島根県西ノ島町] さざえ漁師煮・さざえカレー・さざえご飯の素・あじのみりん干しなど



■問合せ ちよだいちば
(千代田区神田錦町3-21 ちよだプラットフォームスクウェア1階)
☎&FAX 5 5 7 7 - 3 8 4 6
※午前中の電話対応はできません。

平成30年度千代田区分譲マンション実態調査の結果報告③
～千代田区内のマンションのコミュニティ活動への取り組み～

問合せ 住宅まちづくりグループ ☎3 2 3 3 - 3 2 2 3

前月号に引き続き、平成30年度千代田区分譲マンション実態調査の結果をお知らせします。今月号では、各マンションでのコミュニティ活動への取り組みを紹介します。調査結果から、管理組合以外の居住者組織があるマンションや定期的にイベント等を開催しているマンションは少ないことが判明しました。

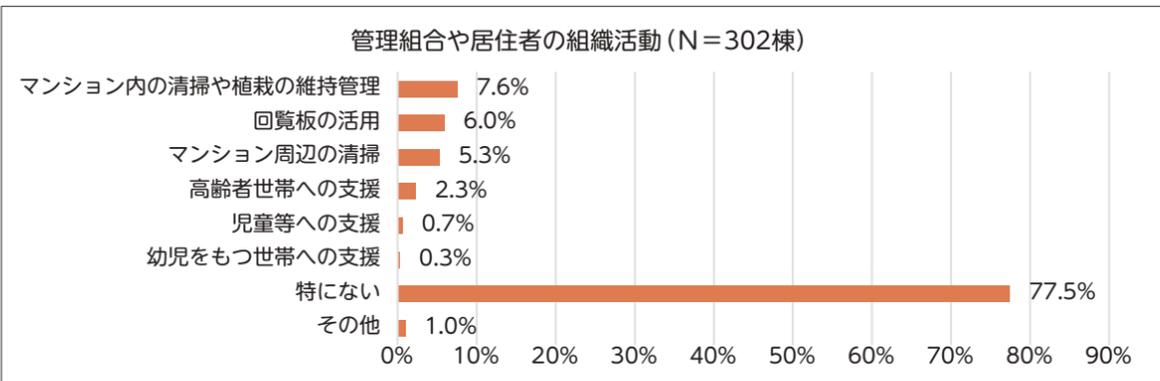
災害発生時等に安否確認などをスムーズに実施するためには、近所同士で普段からあいさつを交わし、一緒にイベントに参加するなど、人と人のつながりを持ち、顔の見える関係を築いておくことが大切です。

調査概要

- 地域：千代田区全域
- 対象：当初から区分所有マンションとして供給された3階建て以上の非木造の共同住宅
- 期間：平成30年9月～平成31年4月
- 方法：分譲マンション管理組合、管理会社へのアンケートおよびヒアリング調査、現地調査等 (区内分譲マンション管理組合へのアンケート送付数：463棟)

管理組合や居住者の組織活動について

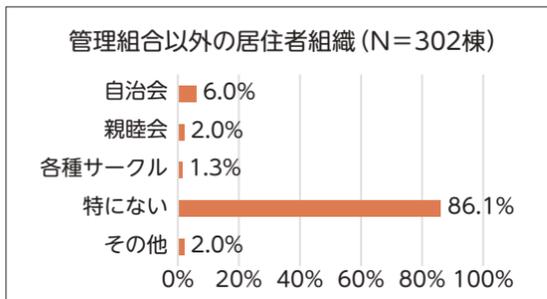
回答のあった302棟のマンションのうち管理組合や居住者の組織活動は、マンション内の清掃や植栽の維持管理が7.6%、回覧板の活用が6.0%、マンション周辺の清掃が5.3%でした。



管理組合以外の居住者組織の有無について

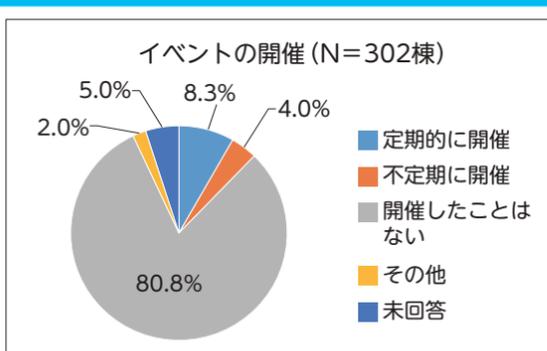
回答のあった302棟のマンションのうち、管理組合以外の居住者組織は、自治会が6.0%、親睦会が2.0%、各種サークルが1.3%でした。また、管理組合以外に特に居住者組織のないマンションは86.1%でした。

活動内容は、忘年会などの懇親会、お花見・クリスマス会など季節のイベント、お祭り、まち歩き、囲碁などの趣味に関するイベントがありました。



マンション内のイベントの開催について

回答のあった302棟のマンションのうち、イベントを定期的・不定期に開催しているマンションは全体の8.3%、不定期に開催しているマンションは4.0%でした。また、年間のイベント開催数は、定期・不定期ともに年1～2回が多く、最多で年6回開催でした。なお、その他の回答の中には、マンション内でイベントを開催していないが町会のイベントに参加しているという回答もありました。



まちみらい千代田では管理組合等でコミュニティ活動(イベント等)を行う際、その経費の一部を助成しています。詳細は、まちみらい千代田のウェブサイトをご覧ください。



問合せ 産業まちづくりグループ
☎3 2 3 3 1 7 5 5 8

- 定員 20名(定員になり次第、締め切ります)
- 受講料 一般 一万円 区民・学生 五千円



■日時 10月24日～12月19日 毎週木曜日(全9回) 18時45分～20時55分
■会場 ちよだプラットフォームスクウェア4階401会議室
■申込み 左記二次元コードからお申し込みください。

「独立したい」「経営の基本を学びたい」「定年を機に起業したい」方を対象に、起業の基礎が学べる起業塾を開講します。サラリーマン・OL・主婦・学生・シニアの方など、年齢性別は問いません。
※業種特化編では、マーケティングおよび財務を重点的に学習します。
小さなお子さん(未就学児)がいる方は託児サービス(有料)を利用できます。

千代田ビジネス起業塾
業種特化編 受講生募集



ちよだプラットフォームスクウェア創立15周年記念講演会

ちよだプラットフォームスクウェアの創立15周年を記念して講演会および懇親会を開催します。

- 日時 10月4日(金)15時30分～20時
- 会場 ちよだプラットフォームスクウェア(千代田区神田錦町3-21)
- プログラム

- ◇第1部 記念講演(15時30分～17時10分)
「地方再生のレシピー食から始まる日本の豊かさ再発見」
講師 奥田政行氏(アル・ケッチャーノ オーナーシェフ/写真)
- ◇第2部 トークセッション(17時20分～18時20分)
「地域での起業を目指す食の学校“A級グルメアカデミー”」
ゲスト 寺本英仁氏 モデレーター 丑田俊輔氏
- ◇第3部 懇親会(18時30分～20時) ※会費2,000円
- 申込み・問合せ プラットフォームサービス株式会社
☎3233-1511 FAX3233-1501
✉event@yamori.jp ※申し込みは9月27日(金)まで



今日では、あらゆるモノがありふれ、そのモノとしての機能や品質だけで他社と差別化することが難しくなっています。そして優位なポジションを確保できず、価格競争に巻き込まれてしまう企業が、日本に多くみられるからではないでしょうか。

1. 「デザイン経営」とは

2018年、経済産業省と特許庁が共同で、デザインによる我が国企業の競争力強化に向けた課題の整理とその対応策の検討を行い、「デザイン経営宣言」として報告書を発表しました。ここでは、「デザイン」と「デザイン経営」を、次のように表現(定義)しています。

「デザイン」は、企業が大切にしている価値や、それを表現しようとする意志を表現する営みであり、他の企業では代替できないと顧客が思うブランド価値とイノベーションを実現する力になる。

「デザイン経営」とは、デザインを企業価値向上のための重要な経営資源として活用し、ブランド力とイノベーション力を向上させる経営の姿である。

この「デザイン経営」を実践し成功している企業に共通しているのは、「デザインを企業の経営戦略の中心に据えていること」に加え、①経営チームにデザイン責任者がいること、②事業戦略構築の最上流からデザインが関与すること、③2つの条件を満たしていることです。

2. 今なぜ「デザイン経営」なのか?

日本において「デザイン経営」が十分に普及していない理由としては、「デザインに対する自信と意識が低いこと」特に中小企業や小規模事業者の場合、十分な資金的余裕がない、企業内にデザインに精通する人材がいらない、などさまざまな壁があると考えられます。企業が「デザイン経営」を行う際に重要なのは、経営者自身がデザインに対する意識を高めることであり、そしてその経営者の右腕としてデザイナー(デザイン参謀)が存在し、社内全員がデザインに対する意識を高めていくことではないでしょうか。

連載 がんばる中小企業応援リレーコラム 「〇〇経営」

第1回 中小企業の「デザイン経営」

中小企業診断士 三浦 英晶

争に巻き込まれてしまう企業が、日本に多くみられるからではないでしょうか。

3. 「デザイン経営」は本当に有効なのか?

デザインへ投資を行う企業の業績について、以下のような研究結果が発表されています。

・デザインに投資すると、その4倍の利益を得られる。

・デザインを重視する企業の株価は、S&P500(アメリカの代表的な株価指数)全体と比較して過去10年間で2.1倍成長した。

ほかに「デザイン経営」を行う企業は高い業績を保っていることを示す調査結果が発表されていますが、日本には「デザイン経営」は十分に普及していません。

4. 「デザイン経営」実践の壁

日本において「デザイン経営」が十分に普及していない理由としては、「デザインに対する自信と意識が低いこと」特に中小企業や小規模事業者の場合、十分な資金的余裕がない、企業内にデザインに精通する人材がいらない、などさまざまな壁があると考えられます。企業が「デザイン経営」を行う際に重要なのは、経営者自身がデザインに対する意識を高めることであり、そしてその経営者の右腕としてデザイナー(デザイン参謀)が存在し、社内全員がデザインに対する意識を高めていくことではないでしょうか。

千代田ビジネス大賞表彰企業2社がコラボレーション

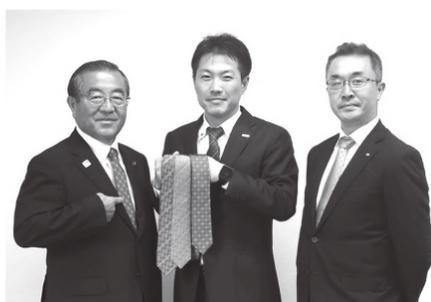
第11回千代田ビジネス大賞において東京商工会議所千代田支部会長賞を受賞した、株式会社ユニフォームネット(荒川広志社長)が発信する地域活性化プロジェクト「AIZUGATA × Graphics(会津型グラフィックス)」は、江戸時代から昭和初期に栄えた福島県会津地方の喜多方市に眠る着物の染型紙「会津型」を現代風デザインにアレンジして商品化するプロジェクトです。

喜多方市が保有する約37,000点もの会津型をユニフォームネットが活用し、第1弾の色鮮やかな会津型エプロンの制作に引き続き、今回、第2弾として第5回千代田ビジネス大賞で大賞を受賞した、老舗ネクタイ会社のハネクトーン早川株式会社(早川智久社長)とコラボレーションしネクタイを作りました。

また、ネクタイの発表に合わせ、会津型発祥の地である福島県喜多方市の遠藤忠一市長を招き、民間企業による地域の伝統文化の活用法について会談しました。

遠藤市長は「会津型は福島県が誇る伝統文化でありながら、まだまだ認知度が低く、その活用方法は模索段階です。今回、ユニフォームネットとハネクトーン早川というユニフォーム業界の企業の目に留まり、会津型の新たな可能性が開かれました」と述べられ、荒川社長は、「ユニフォームネット創業の地である福島県の伝統文化である会津型を、現代の技術で変化をつけ今の時代に受け入れられやすいものとして発信していきたい」とコメントしました。

会津型ネクタイはクラウドファンディングサイト「Readyfor」で9月27日まで販売 [@https://readyfor.jp/projects/aizugata002](https://readyfor.jp/projects/aizugata002)



▲左から遠藤市長、荒川社長、早川社長 ▲制作したネクタイ

農商工連携サポートセンターが設立10周年

7月29日、NPO法人農商工連携サポートセンター(大塚洋一郎代表)の設立10周年を祝う記念式典が、ちよだプラットフォームスクウェアで開催されました。

NPO法人農商工連携サポートセンターは、農商工連携、六次産業化、都市農村交流による地域活性化等を推進するため、平成21年7月29日に設立されました。設立当初に神田錦町で始めた「ちよだ青空市」は、全国の農産物、物産を千代田区でテスト販売することを目的に毎月1回、延べ56回開催し、全国各市町村の農作物等を区民や在勤者の皆さんに紹介しました。その後、「ちよだ青空市」は、平成26年6月に市町村の常設アンテナショップ「ちよだいちば」へ発展し、食と農、消費者と生産者、都会と地方の交流の推進に努めています。

また、大塚洋一郎代表は、千代田区と全国の市町村を結ぶ「ちよだフードバレーネットワーク」の会長も務められるなど、千代田区の重点施策である「地方との連携」の推進に大きく貢献されています。

記念式典では、日本愛妻家協会事務局長で農商工連携サポートセンター設立時の理事(現在は顧問)でもある山名清隆氏の記念講演や大塚洋一郎氏も加わったパネルディスカッションが行われ、その後、和やかな雰囲気の中、石川千代田区長も参加された懇親会が開催されました。

■問合せ 産業まちづくりグループ ☎3233-7558

